

メチルグアニジンには発育効果はなく、N-アセチルアルギニン発育効果が見られた。

(4) 標準血液濾紙作成にあたり、アルギニンは速やかにオルニチンに転化するので、注意が必要である。

(5) 本格的実施には、まだ多く検討の余地が残されている。

糖の蛍光薄層クロマトグラフィーによるガラクトース血症の鑑別

大阪市環境保健協会 藤本 昭栄
大阪市大小児科 青野 繁雄
砂子療育園 大浦 敏明

昨年発表した糖の TLC にオルトアミノズルホン酸による蛍光発色を行なう方法で、本年度エビメラゼ型 4 例、トランスフェラーゼ型 1 例を診断した。しかし既知の 3 つの酵素系がいずれも正常な非特異的ガラクトース血症にも遭遇し、酵素測定、経過追跡を要した。

尿中シアル酸定量によるムコリピドーシスのスクリーニング

桃山市民病院検査科 玉田 厚
砂子療育園 大浦 敏明

ムコリピドーシス患者尿中には、シアル酸含有糖ペプチドの増量することが報告されているので、酵素法を用いて尿中シアル酸を特異的に測定することにより、スクリーニングが可能かどうかを検討した。その結果、ムコリピドーシス II 型、 β -ガラクトシダーゼ欠損症成人型各 2 例の尿中シアル酸は対照と 1 例の重複を見た以外、すべて高値であった。感染症、蛋白尿、ムコ多糖体症での尿中シアル酸が増量するが、ゲル濾過を行なうことにより、シアル酸含有糖蛋白の分子量分布パターンが異なるので、判別可能と考えられた。